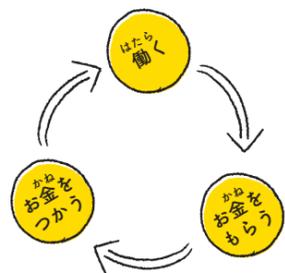


こどもの、こどもによる こどものためのまち!

大人は立入禁止!がコンセプト。
何をするのも、主役は子どもたちです。



子どもだけのまちで働いてみる、買い物をしてみる、遊んでみる
知らない人に話しかけてみる、地図を読んでまちを歩いてみる
困ったら誰かに助けを求めてみる
大人立入禁止の世界で"自分で考えて、決めて、行動する"だから楽しい
思い通りにならないことも、うまくいかないことも失敗も後悔もひっくるめて...
みんなで、子どもだけのまちをつくらう!

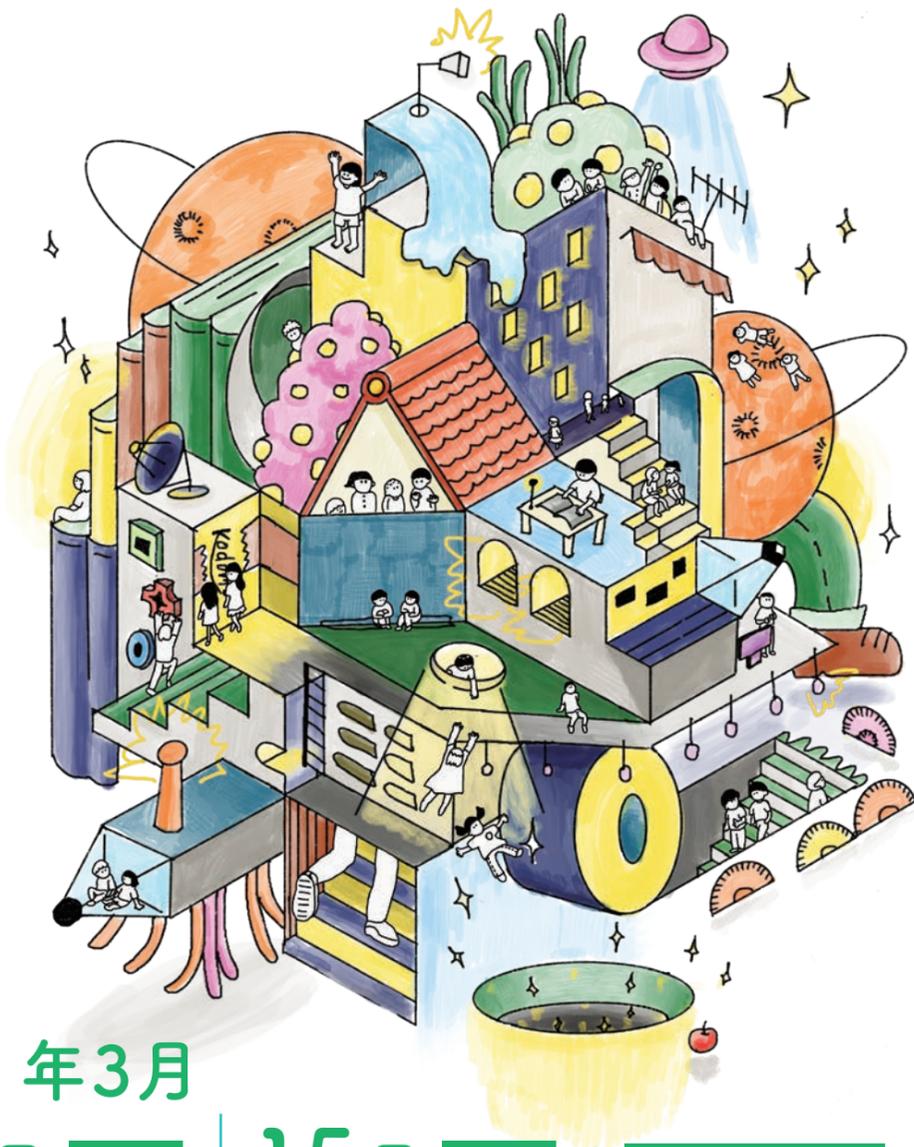
令和7年度子どもだけのまちをつくらう!

大人は立入禁止!

Smile!! memory world

実行委員会
で決まった
令和7年度の
まちの名前だよ。

まちの住人
になってみよう!



参加者募集

申込締切

3/2

月

参加費無料
事前申込制

2026年3月

14日 土
12:00~16:00

15日 日
11:00~15:00

日進市民会館

定員:各日450人

対象:小1~中3(日進市内在住または在学者、初めての方優先)

時間内の入退場自由
応募者多数の場合は抽選

詳しくは裏へ

申込方法

「Smile!! memory world 参加者募集フォーム」より必要事項を入力してください。きょうだいで申し込まれる人は1人ずつお申し込みください。右の二次元コードからアクセスしてください。



申込締切
2026年
3月2日 月

大人は入場できません。保護者用の待機会場を用意しますので、送り迎えなどで必要な場合はご利用ください。

抽選結果は3月5日(木)までに、ご登録いただいたメールに kaikan@nissin-assist.co.jp のアドレスからご連絡します。メールの受信ができるように設定をご確認ください。メールが届かない場合は、日進市民会館にお問い合わせください。

※完全事前申込制です。当日申込はお受けできません。
※個人情報に関しては、法令を遵守し、このイベントに関するものみに利用、適切に取り扱います。

よくあるお問合せ

Q. 昼食を持参する必要はありますか?

A. 持参したお弁当をまちの中では食べられません。軽食はまち(会場内)の中で提供する予定で、メニューは子ども実行委員会が検討しているところです。過去には焼きそばやジュースなどのブースが並びました。子どもたちが、こどものまち独自の通貨を使って購入します。しかし、十分な量をご用意できるわけではありませんので、一旦退場して食事をし、再入場する参加者もいます。

Q. 保護者は会場内に入れますか?

A. スタッフや関係者以外の入場は不可となっています。保護者用待機室をご用意しますので必要でしたらご利用ください。お子さまの入場後は、スタッフを通しての伝言、呼び出し、物品の受け渡しはお受けできません。お帰りの時間や待ち合わせ場所などは事前に決めておいてください。

Q. きょうだい、友達と参加できますか?

A. 応募多数で抽選になった場合でも、グループでの配慮はいたしかねます。また、きょうだいや友達と一緒に入れたとしても、まちの中で常に一緒にいられるとは限りません。一人で困ることがあれば、実行委員の子どもたちや大人スタッフがサポートします。グループで帰り時間を合わせる必要がある場合などは入場前に十分ご確認ください。

Q. 入退場は自由ですか?

A. 入場した後、終了時刻前に退場することや再入場することは可能です。入退場の際に受付で氏名の確認をいたします。

Q. 時間はどれくらいがかかりますか?

A. まちの中での過ごし方は、参加者によって様々です。「仕事をする→遊ぶ」を繰り返して一日中活動する参加者もいれば、お金がなくなったら帰るといった参加者もいます。

Q. 食べ物のアレルギーの心配があります。

A. 食べ物のアレルギーをお持ちの場合は、参加申込時と参加当日の受付時に必ずお申し出ください。まちの中で提供される飲食物のメニューや食材は事前にお知らせいたします。

ご確認ください。

●当事業では食品を取り扱い、飲食をする場合があります。アレルギーなどにはご注意ください。●イベントの参加に際して、障害等を理由とする配慮が必要な人は事前にお問い合わせください。●主催者および主催者が許可した機関等が撮影・録音した画像・音声は各報道機関、各種ホームページ、市広報等へ掲載されることがあります。

主催 日進市教育委員会

企画・運営

Smile!!memory world 実行委員会
日進アシスト株式会社(指定管理者)

【問い合わせ】日進市民会館 ■電話/0561-72-0955 ■メール/ kaikan@nissin-assist.co.jp





「日進市 こどもだけのまちをつくろう！」 事業とは？

「こどもだけのまち」はその名の通り、子どもたちだけで創り上げるまちのことです。

子どもが大人に頼ることなく自分で考え行動する、何もかも自分でやらないと解決できない。それが「こどもだけのまち」です。子どもの主体性や協調性、社会性などの自己形成を助け、自己肯定感を高めるとともに、自身の様々な課題に柔軟かつたくましく対応し、社会人として自立していくことができるようなキャリア教育の推進を目指しています。

何か困ったら、助けてくれるのは周りの子どもです。同じ市民である子ども同士が協力しながら、まちを運営していきます。

大人の役割は、子どもたちがやりたいことを実現するための試行錯誤を見守ること。

子どもだけの遊びの中に隠れる、子どもたちの豊かな発想力と行動力が集まって、このまちはできあがっていきます。

この事業が目指すこと

本事業は、自ら考え自ら行動する、そんな子どもの主体性を大切にしたいプログラムです。普段の生活では出会えない、学校や学年を超えて集まった子どもたちのコミュニティの中で、互いに助け合いながらまちをつくり上げていきます。

子どもだけの非日常の空間の中で、大人に頼らず自分達の力でなんとかしようという工夫することで、主体性や課題解決力を身につけることを目指します。

また、子どもをサポートする多くの人々との関わりを通して、視野を広げ、地域社会との繋がりを深める機会となります。

子どもだけのまちに関わる人たち

当日参加者 (対象：小1～中3)

本番当日に参加する住人たち。特に小学校低学年が多く、あまりこどもだけのまちのことを知らない。まちの通貨を使ってお店で買い物したり、遊んだり、食べ物を買ったりしてまちで遊ぶことができるほか、お店で働いて通貨を稼ぐこともできる。



実行委員 (対象：小5～中3)

本番の半年ほど前から、月に1回程度の実行委員会で、こどもだけのまちを創り上げる人たち。お店はもちろんまちの仕組みも考えて当日参加者を迎える準備をする。当日は自分のお店や企画で働くだけでなく、当日参加者と同様にまちを楽しんだり、自分のお店以外でも働いて通貨を稼ぐことができる。

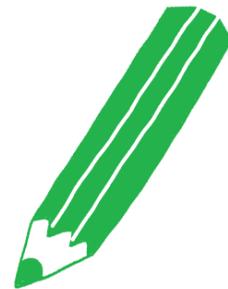


学生サポーター

子どもたちが安全に活動できるよう、「見守る」スタンスで子どもと関わる実行委員経験者、高校生、大学生のスタッフ。

大人

主催である日進市教育委員会と、運営を担う日進アシスト株式会社(日進市民会館指定管理者)、そして企画とファシリテーションを担当する一般社団法人にしんエデュケータスが連携して本事業を組み立て、子どもたちの挑戦を見守り、支えています。



今年の当日参加者アンケート抜粋

行く前は「ワクワクしてるけど緊張もしてる」と表情が固かったのですが、戻ってきたときは表情も明るく饒舌に中での様子を話してくれ「めちゃくちゃ楽しかった、明日も行きたいくらい！」とっていました。定点カメラに一人でウロウロ迷っている場面が映っていることが多く心配していたのですが、本人はととても楽しんでいたので、親が思っているよりたくましいんだなと感ずることができました。

トラブルもあったみたいですが、めっちゃくちゃ楽しかったー！とっていました。



食べたいものが無かったり、混雑していて食べれなかったのは残念だったようですが、働いて稼いだり雰囲気を楽しめたとのことでした。

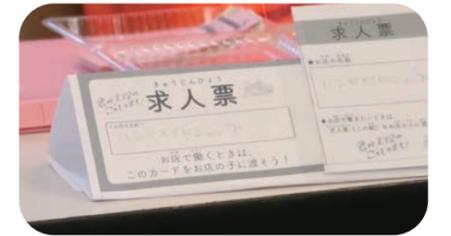
大人がいない環境だと全て自分で選択して決断することになるので、自分が大人になった気分だった。とのことでした。



何か分からないことや困ったこと、次に何をしようか等、大人といるとついつい、困らないように先回りして決めたり、教えたりしがちなので、たとえ困ることがあっても、自分で考え、決めて行動する機会があつて良かったと思います。

●こんな意見もありました
たくさん歩いて疲れた。入りたいお店が1時間待ちだった。列に並んでいたら抜かされた。働きたかったが空いていなかった。思ったより楽しくなかった。

こういった声も大切です。教えていただきありがとうございます。



保護者の方へお願い

毎年、当日参加したお子さんや保護者の方から様々なご意見・ご感想をいただきます。実行委員の子どもたちもその一つ一つを読んで「なぜそうなったのか」「どうすればよかったか」を考えて、自分たちのまちをつくっています。

それでも、参加者の全ての子どもの、大満足して帰っていくことはとても難しく、それは大人の世界と同じです。本事業に参加してくれた子どもたちみんなが「よかった!」と思ってくれることを願ってはいますが、中には「つまらなかった」と言って帰っていくおさんがいることも十分想定されます。

そんな時は「どうしてそうなったと思う?」「君が作る側だったらどうする?」と聞いてみてください。

「うまくいかない」という経験は、成長の種です。

この事業で一番生み出したいのは、子どもたちが「どうすればよいか」を自分なりに考え、検証してみる過程であるということをご理解いただけますと幸いです。



本事業は、下記10の子どもの権利を定めた「日進市未来をつくる子ども条例」の理念に基づいています。

- 愛される権利 ●守られる権利 ●自分らしく生きる権利 ●気持ちや考えを伝える権利 ●学ぶ権利
- 遊ぶ権利 ●心や体を休める権利 ●自然とふれ合う権利 ●参加する権利 ●ともに生きる権利